

## 6. 全体計画方針と戦略

## 6.1 学府・研究院制度の理念を実現する空間構成とその管理・運営の確立

(1) 学府・研究院制度のもとでの自律的変革に柔軟に対応できる空間構成とその管理・運営

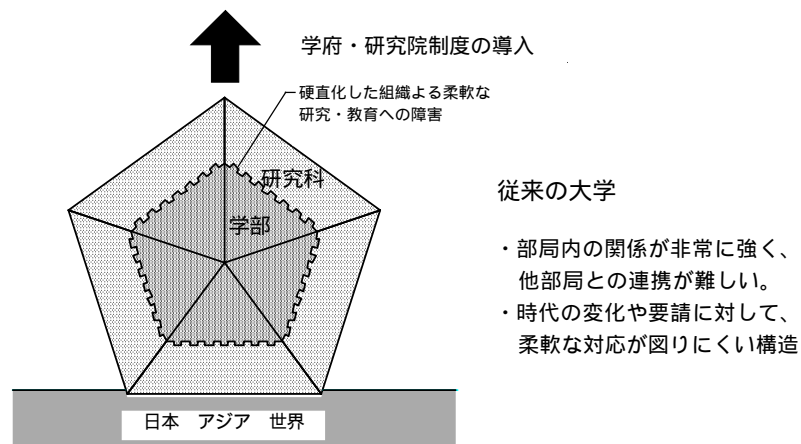
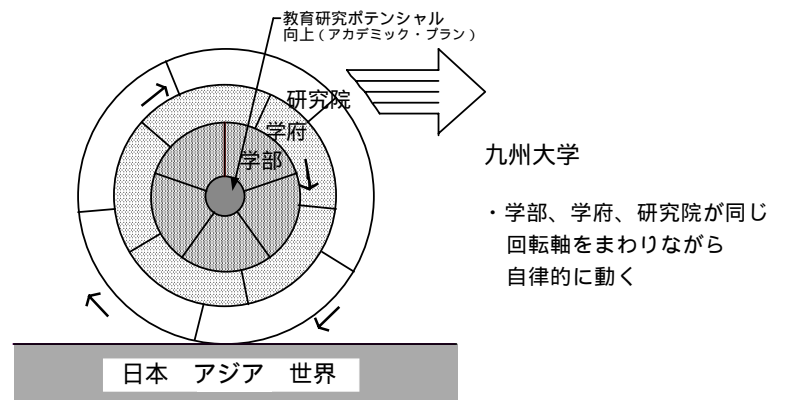


図6-1-1 学府・研究院制度の概念

(2) 土地、施設等の全学的な管理・運営

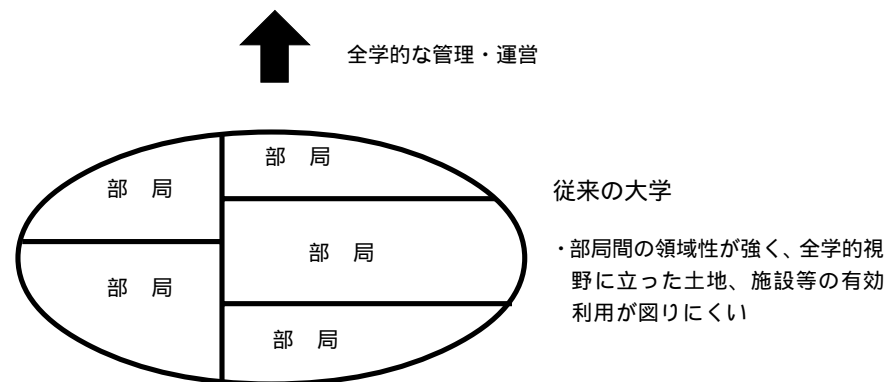
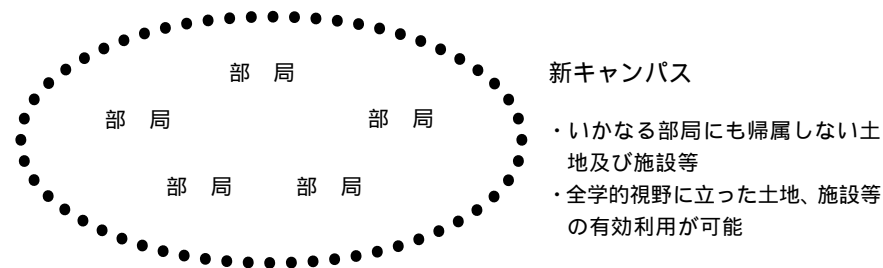
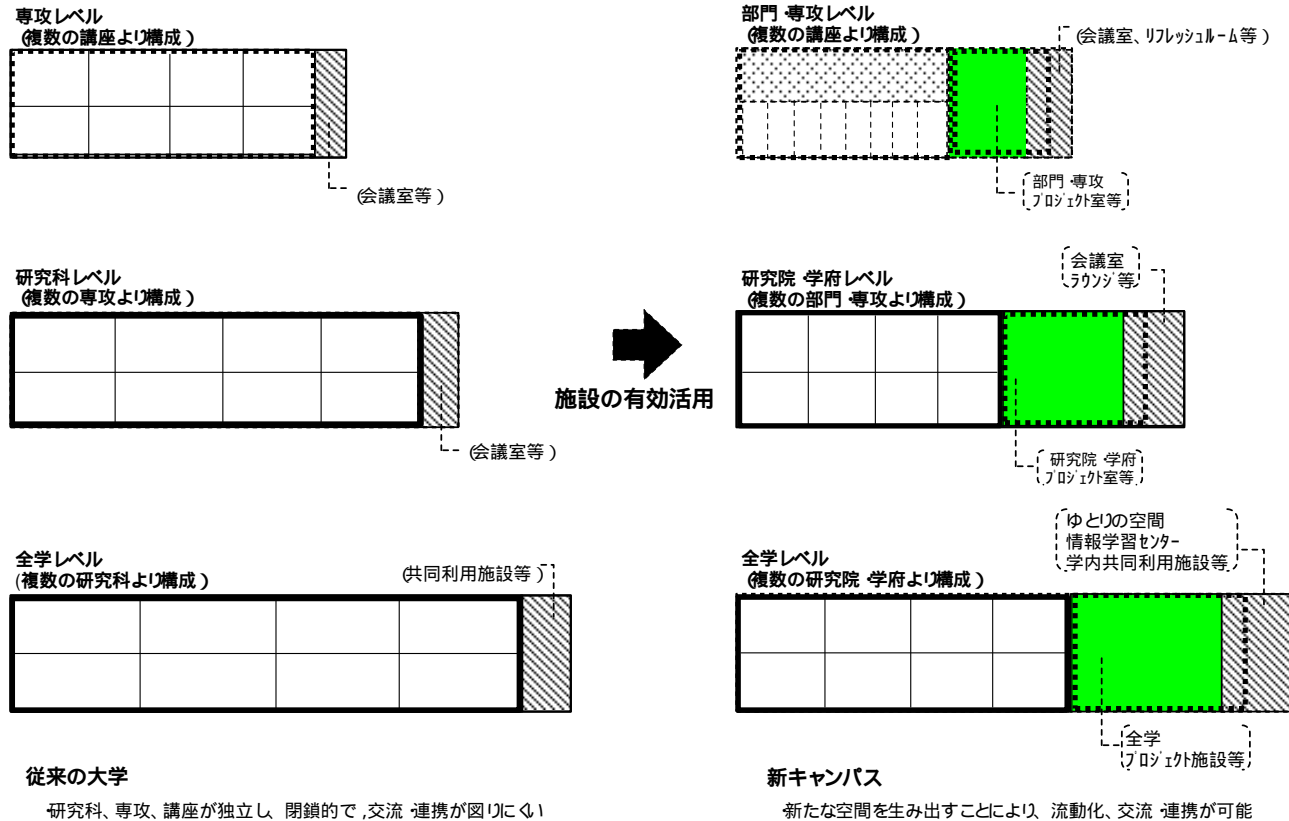


図6-1-2 組織間の境界のない大学キャンパスの概念

③ 研究・教育活動の流動化や、部局等組織間の交流・連携を促す空間の積極的確保



\* 部局等の研究・教育の特殊性を考慮してこの新たな空間構成を導入する必要がある。

専用空間  
 従来の固定的な専用空間から生み出される新たな空間  
 固定的な専用空間  
 共同利用空間 (交流・連携)  
 フレキシブルな専用空間 (流動化、交流・連携)  
 競争を促す空間 (流動化、交流・連携)

図6-1-3 大学院における各組織単位 (全学、研究院・学府、部門・専攻) での研究・教育空間の概念

④ 研究・教育活動において競争を促す戦略的空間活用方法の導入

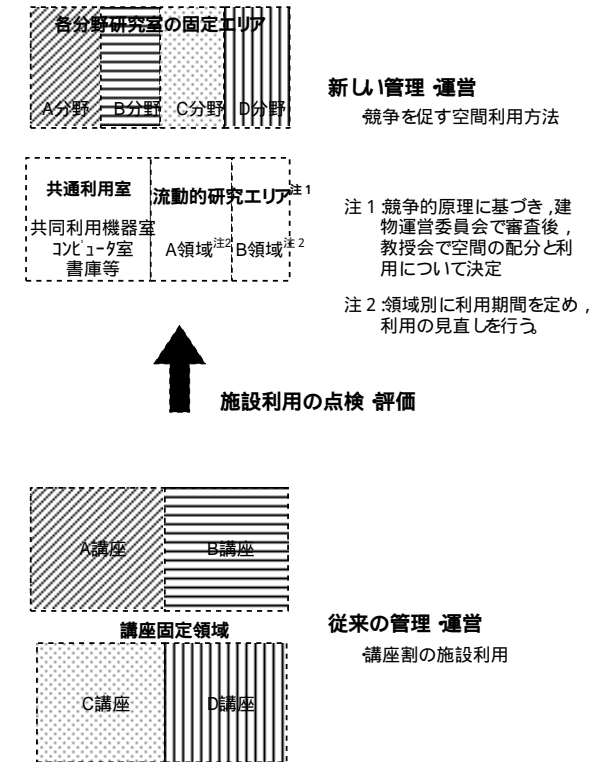


図6-1-4 九州大学における新たな施設管理・運営の実施例 (大学院薬学研究院・学府施設の管理・運営)

## 6.2 東西骨格に支えられる総合大学としての一体的な研究・教育環境の構築

(1) 学際的な研究・教育活動をつなぐ空間軸「キャンパス・モール」の構築

(2) 南に連続する開放的なオープンスペース群  
「キャンパス・コモン」の創出



図6-2-1 キャンパス・モールの概念

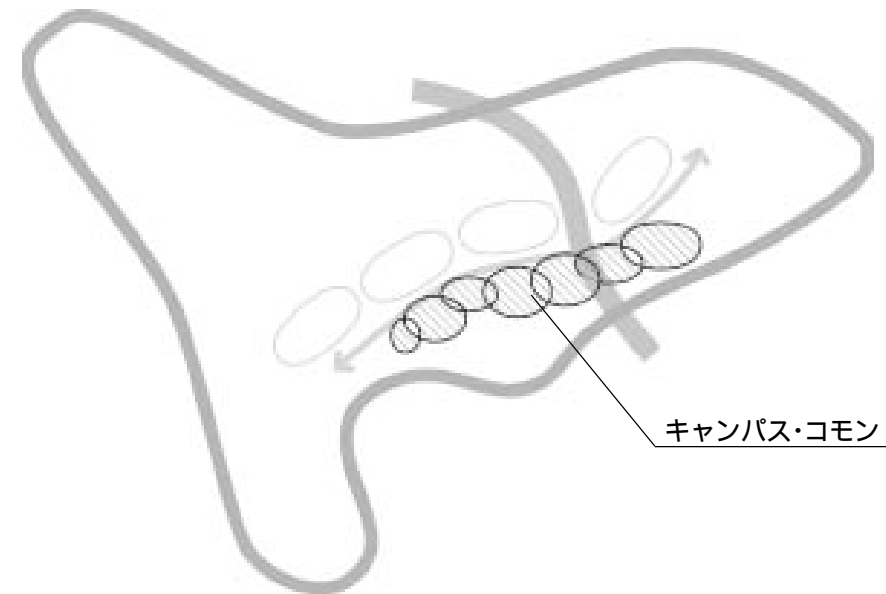


図6-2-2 キャンパス・コモンの概念

(3) 自然地形になじむルートで機能をつなぎ、  
研究・教育活動を支援する動脈の形成

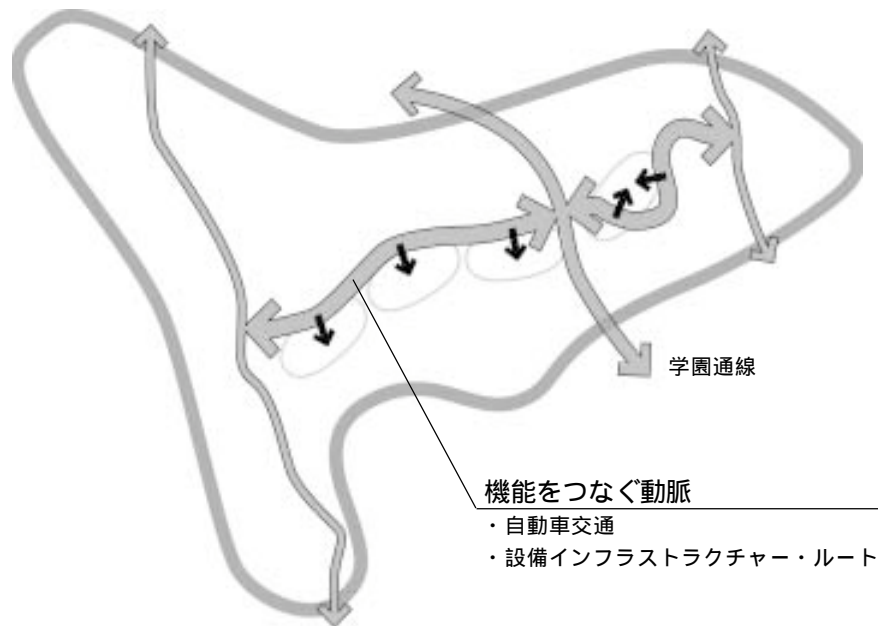


図6-2-3 研究・教育活動を支援する動脈の概念

(4) 未来を拓く空間軸「未来のポテンシャル軸」の創造

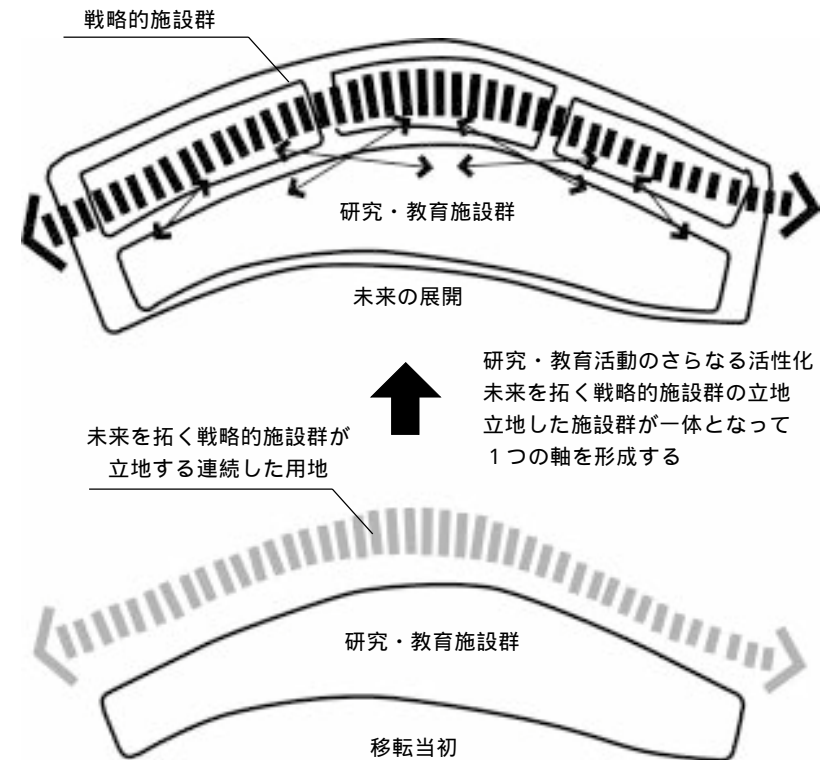


図6-2-4 未来のポテンシャル軸の概念

## 6.3 経営を視野に入れた産学・地域連携と国際交流の拠点「タウン・オン・キャンパス」の戦略的育成

(1) 地域と世界に開かれた大学の顔となる機能の形成

(2) 民間資金等の導入による施設や産学連携施設等の立地誘導と集積のための空間確保

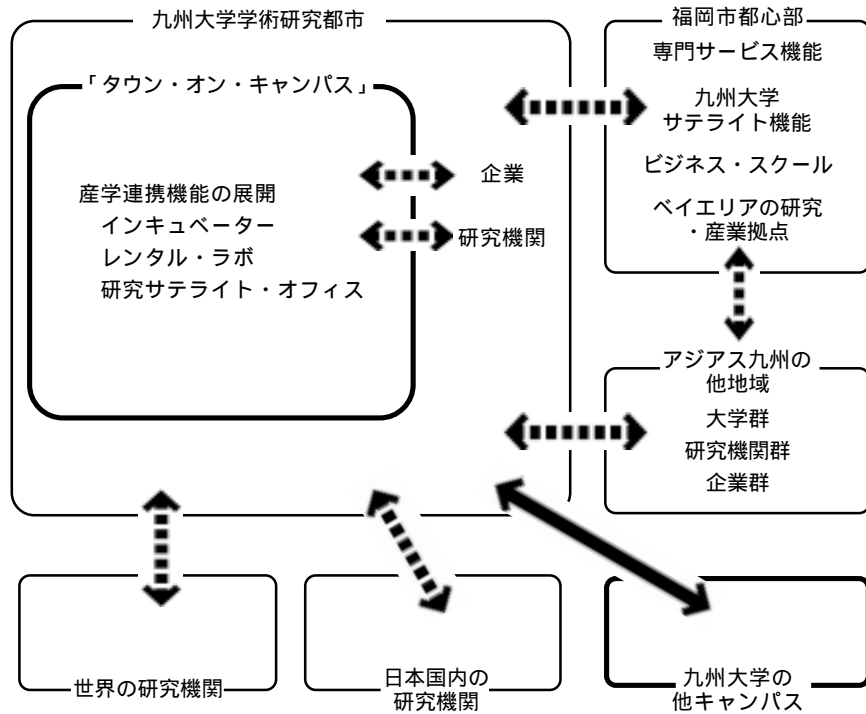


図 6-3-1 「タウン・オン・キャンパス」の産学連携機能の概念

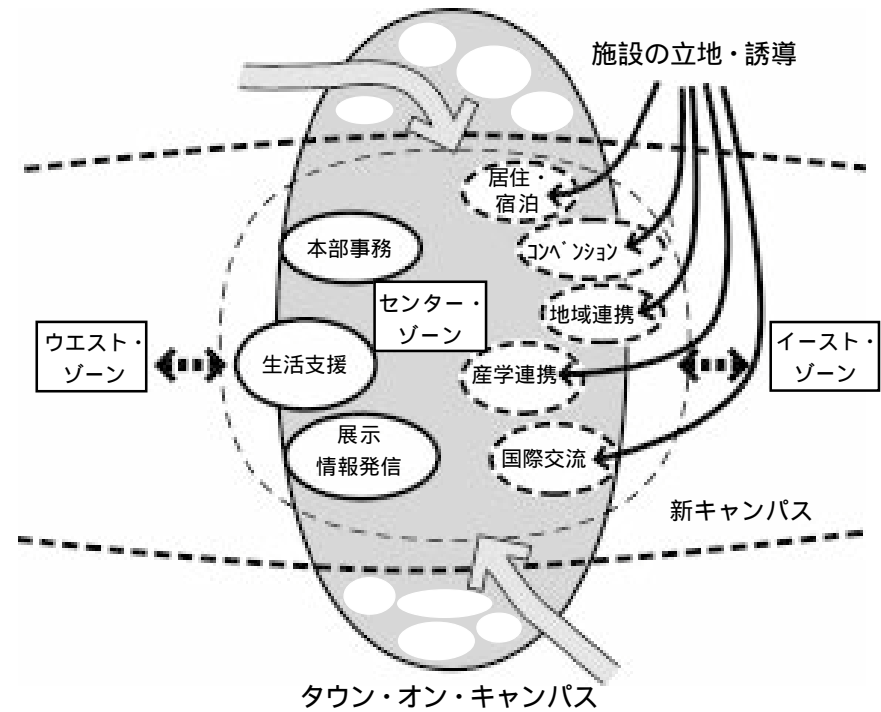


図 6-3-2 「タウン・オン・キャンパス」計画の概念

(3) 国内外から学生や研究者らが集う国際交流の拠点形成

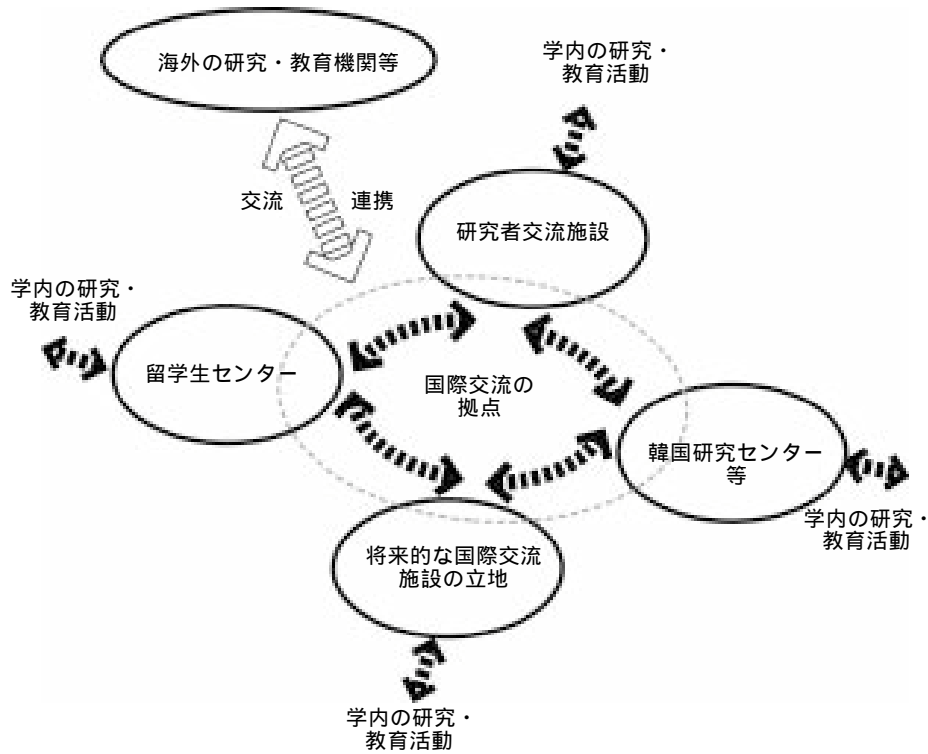


図6-3-3 「タウン・オン・キャンパス」の国際交流拠点形成の概念

(4) 国際交流施設群、総合研究博物館を核とするインフォメーション・センターやビジター・センター等の計画的な配置

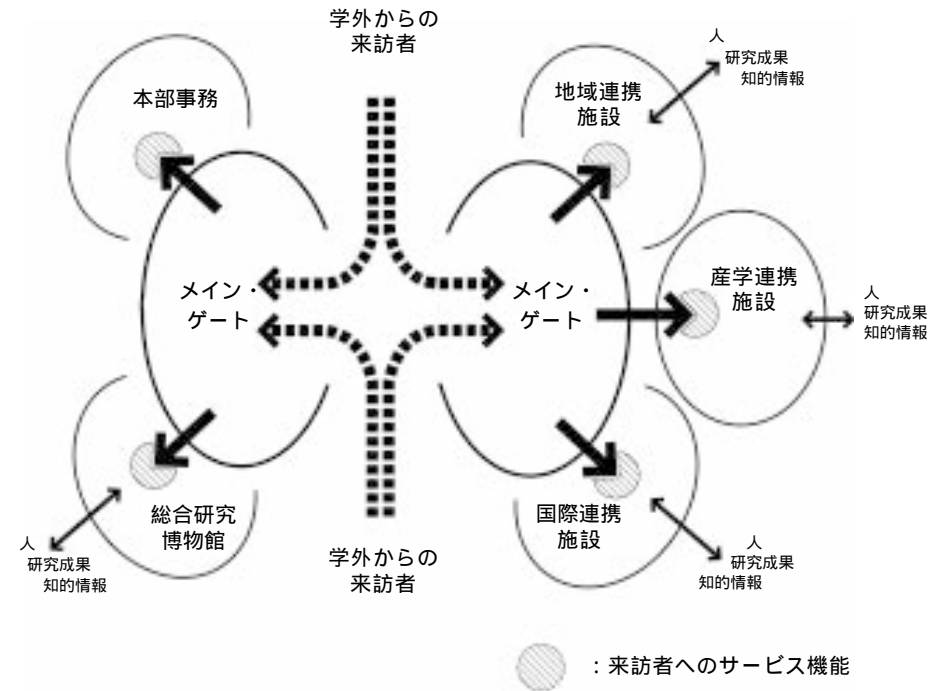


図6-3-4 来訪者へのサービス機能の配置の概念

## 6.4 民間施設等の活用や立地誘導による研究・教育の活性化と生活支援の促進

(1) 学生宿舎等の居住施設の計画的配置と民間施設等の活用による  
周辺まちづくりとの連携

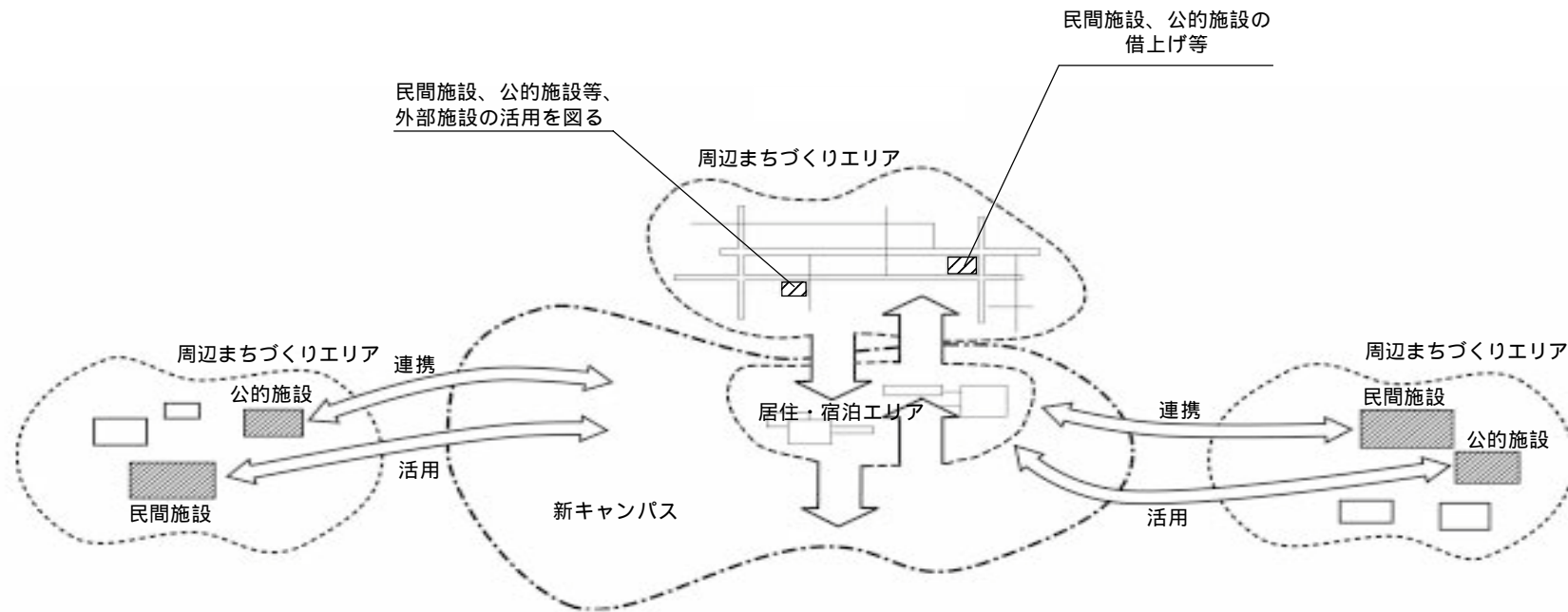
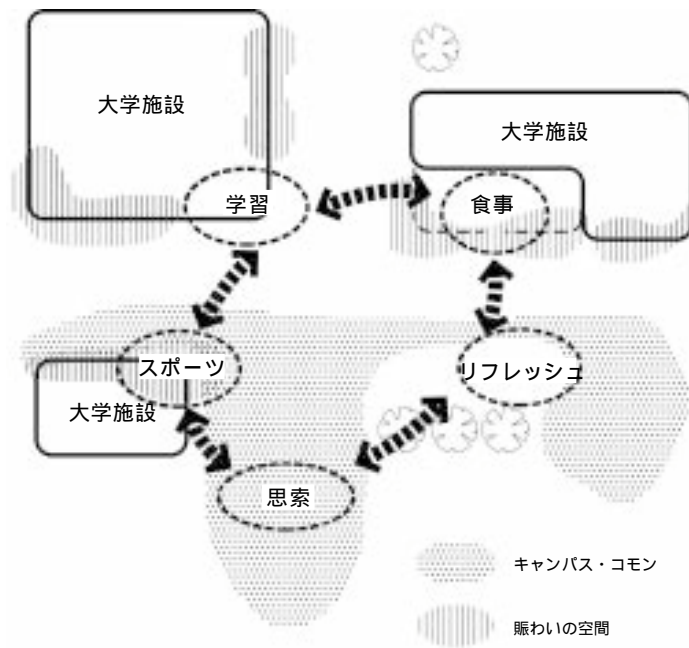


図6-4-1 民間施設、公的施設の活用等による周辺まちづくりとの連携の概念



(2) 学生の多様な欲求を充足させるキャンパス環境の形成



学生の多様な欲求を充足させる施設等を利用しやすく機能的に配置する

図6-4-2 学生の多様な欲求に応えるための施設配置の概念

(3) 寄附や民間資金等の導入による全学的利用施設の用地の確保と立地誘導

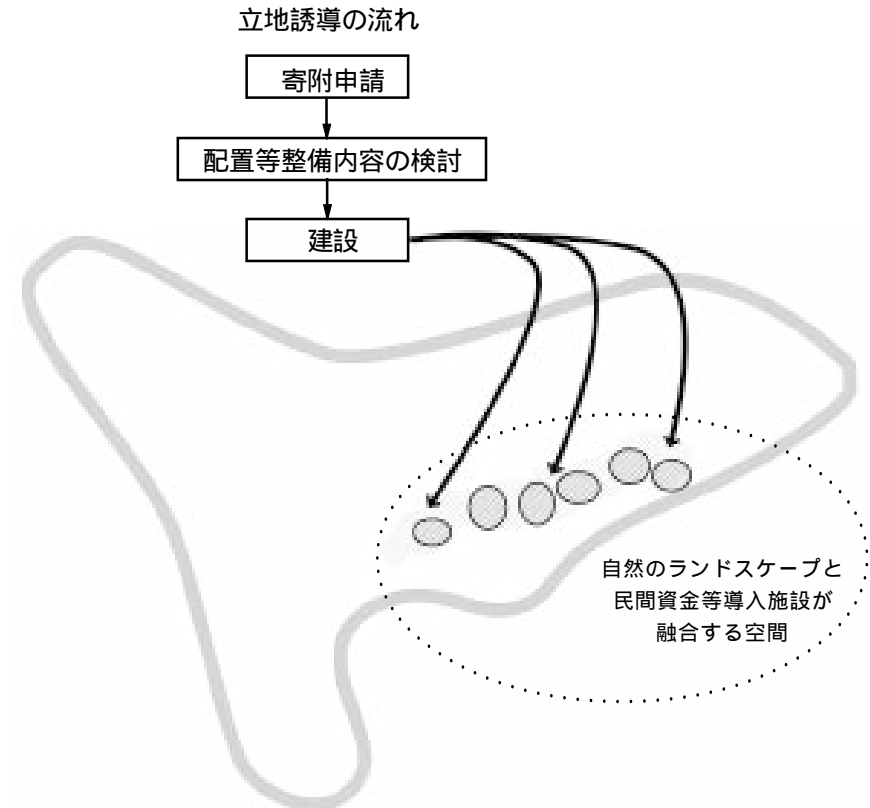


図6-4-3 寄附や民間資金等の導入による施設整備の概念

## 6.5 伝統を創り出す象徴的空間と柔軟に変化・増殖する空間の共存

(1)九州大学の新たな伝統を刻む  
象徴的空間の計画的な位置づけ

(2)オープンスペースと建築との一体的な  
デザインによる美しい象徴的空間の創出

(3)場の美しさや象徴性を演出する彫刻や  
記念碑等の計画的で効果的な配置

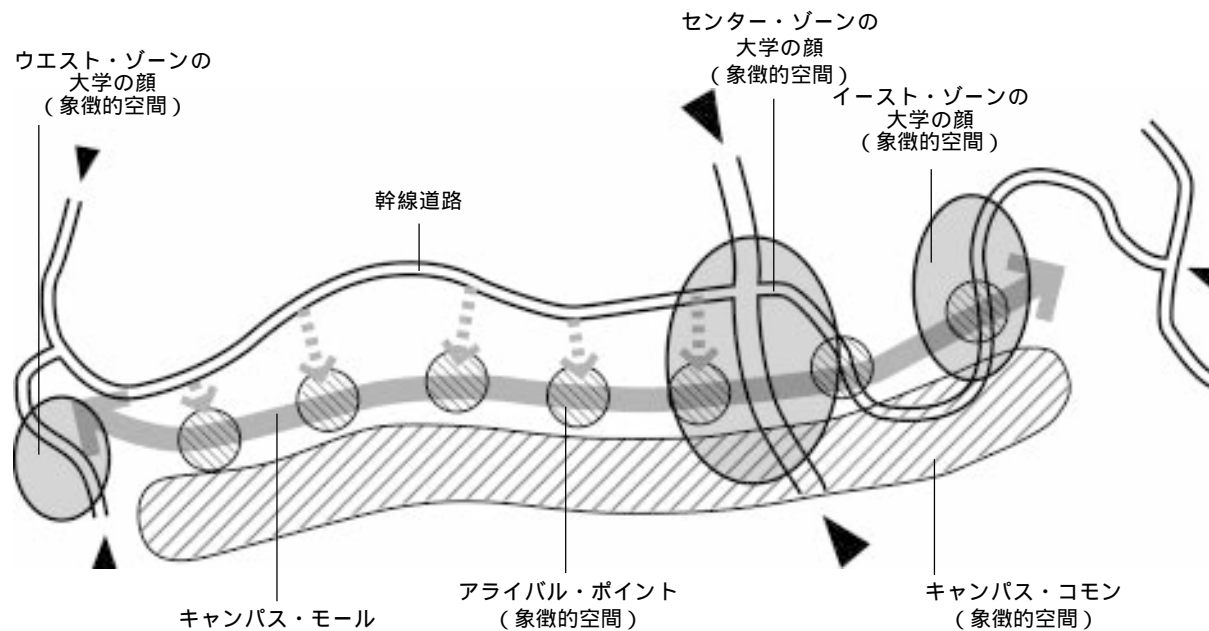


図6-5-1 象徴的空間の配置の概念

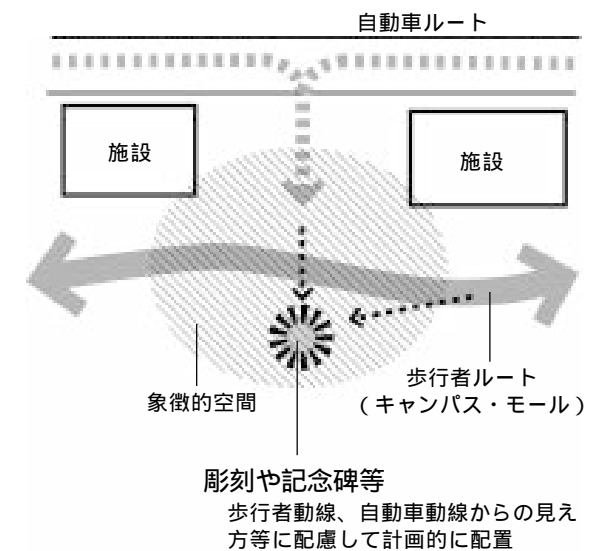


図6-5-2 彫刻や記念碑等と一体となった  
象徴的空間の概念

(4) 社会の要請や時代の変化に柔軟に対応できる研究・教育環境の確保

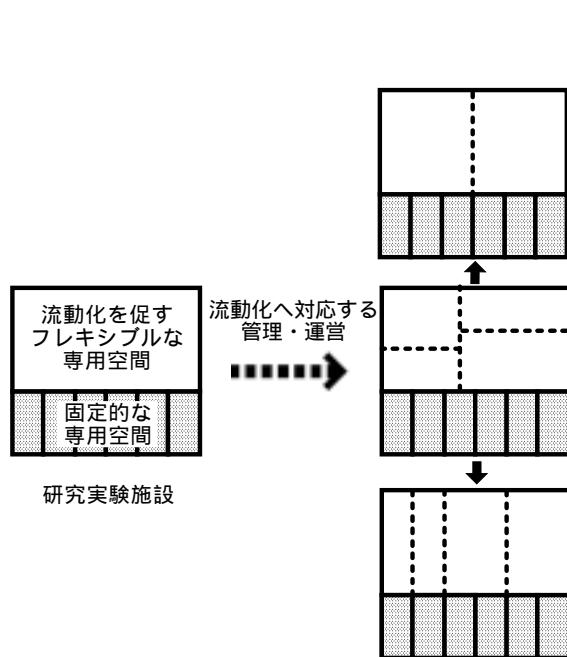


図6-5-3 研究・教育の流動化に対応できる空間構成の概念

(5) 将来の大規模組織増への対応

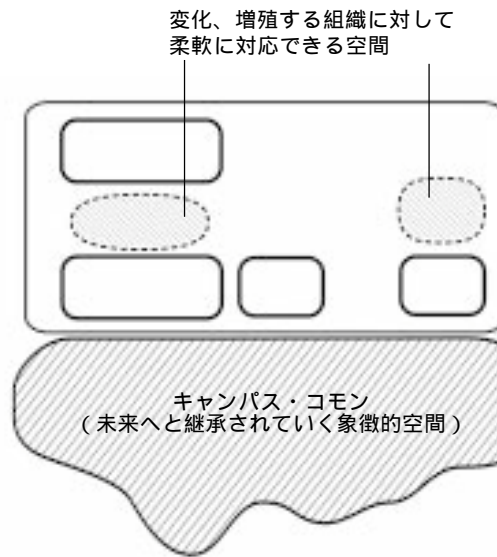


図6-5-4 象徴的空間と変化・増殖する組織に対して柔軟に対応できる空間の概念

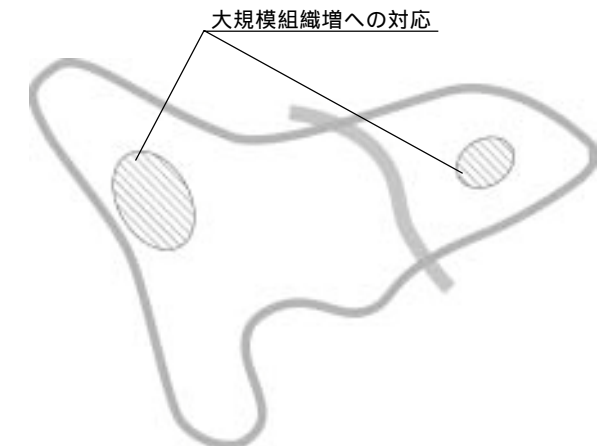


図6-5-5 大規模組織増に対応する用地の概念

## 6.6 糸島地域の悠久の歴史と自然との共生

### (1) 生物多様性の保全と自然・生命との共生

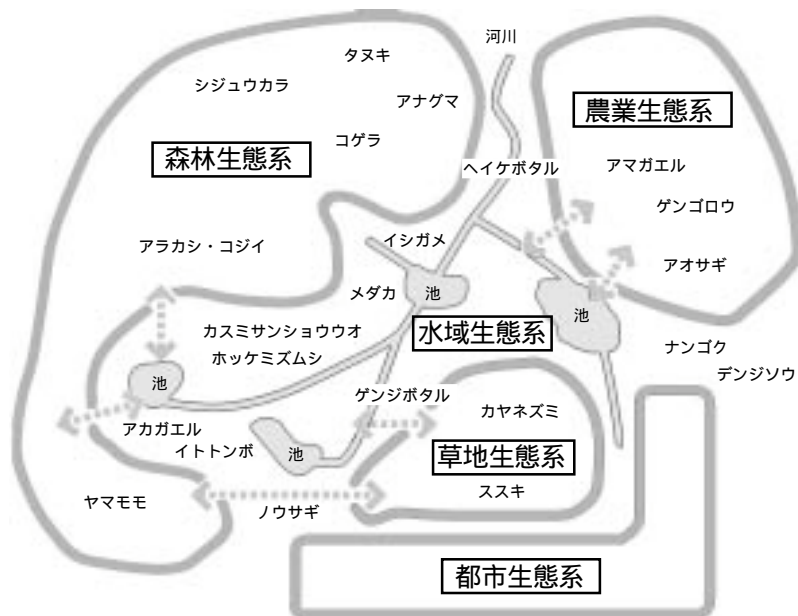


図6-6-1 生物多様性の概念

### (2) 保全緑地と整備緑地が融合したランドスケープの創造

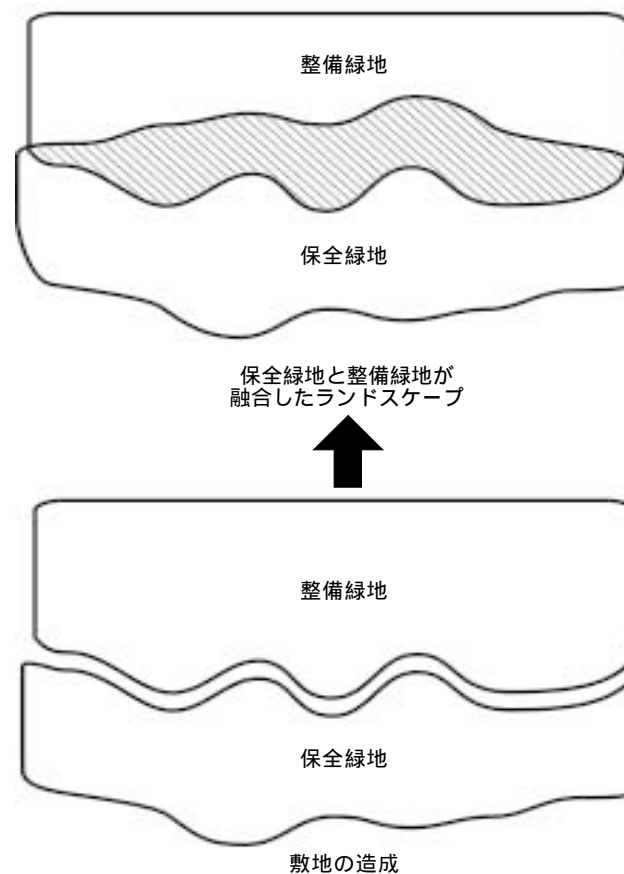


図6-6-2 融合したランドスケープの概念

(3) 自然と埋蔵文化財等の保存、活用に基づく歴史環境との共生



図6-6-3 歴史環境との共生の概念

(4) 周辺地域から見たスカイライン等の景観形成への配慮

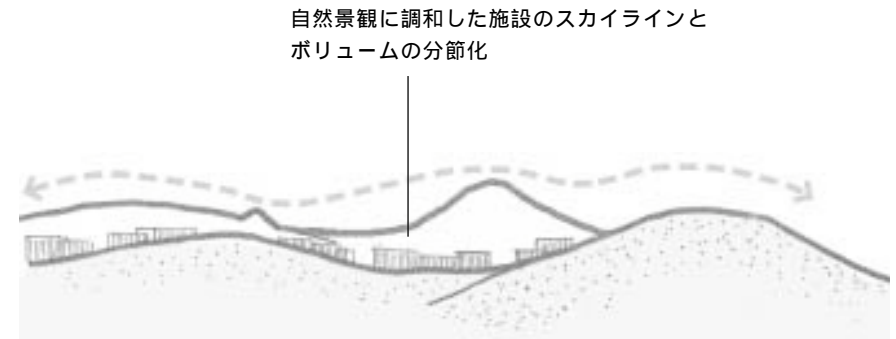


図6-6-4 スカイライン形成のイメージ

## 6.7 安心・安全で快適なキャンパス環境の整備

(1) 楽しく歩けるキャンパス環境の形成

(2) 歩行者動線と一体となった展示・交流等の賑わい空間と憩い空間の計画的配置

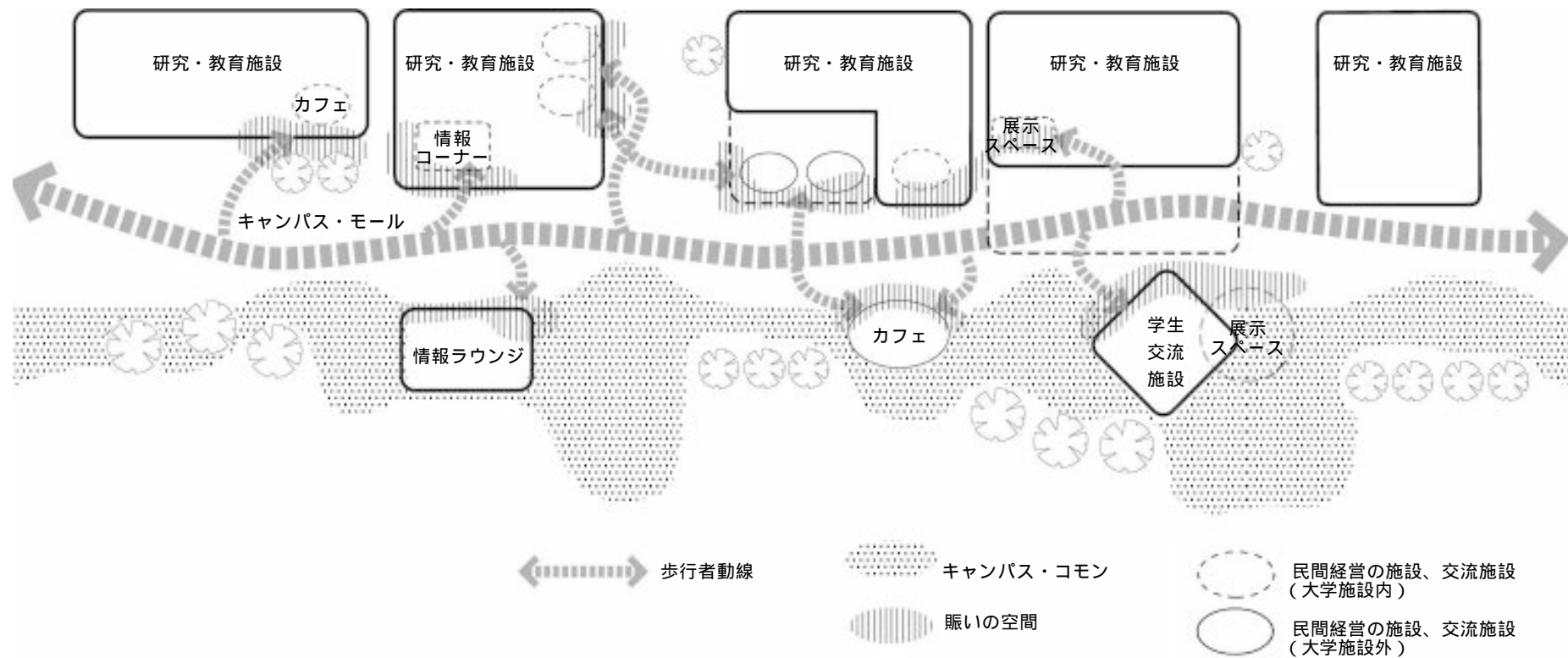
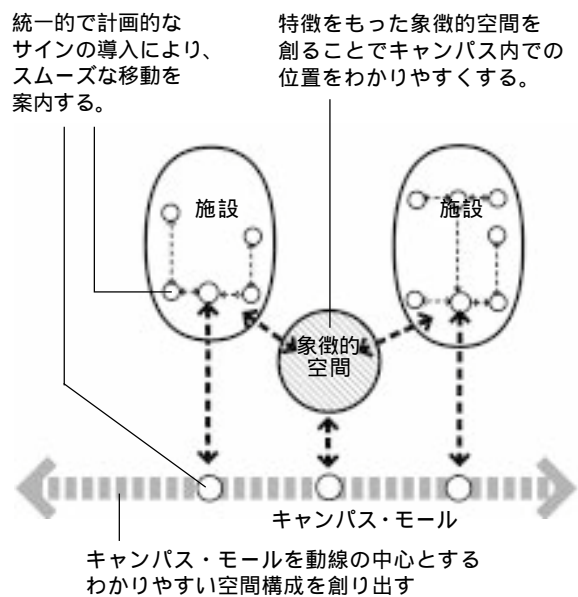


図6-7-1 歩行空間のイメージ

(3) スムーズな移動を可能とするわかりやすい  
空間構成と計画的サイン・システムの導入



移動しやすくわかりやすい空間構成と施設計画  
施設計画と一体となった案内表示、誘導装置、  
掲示等の計画と統一的设计

図6-7-2 サイン・システムのイメージ

(4) すべての人にやさしいバリアフリーな環境形成



生涯を通して知識と関わりたいすべての人に、  
誰もがハンディキャップを感じることなく、  
自立したキャンパス生活を送れる施設づくりを行う

図6-7-3 バリアフリーの概念

(5) 新キャンパスからの眺望の積極的な確保



福岡市街、田園地帯、玄界灘等への眺望を確保

図6-7-4 新キャンパスからの眺望のイメージ



## 6.8 多様な技術に支えられたサステナブル・キャンパスの形成

(1) 安全性、信頼性の確保と環境に配慮した先端的な各種技術の導入

(2) 歩行者専用空間の充足と公共交通の整備状況にあわせた自家用車等  
パーソナル交通のコントロール

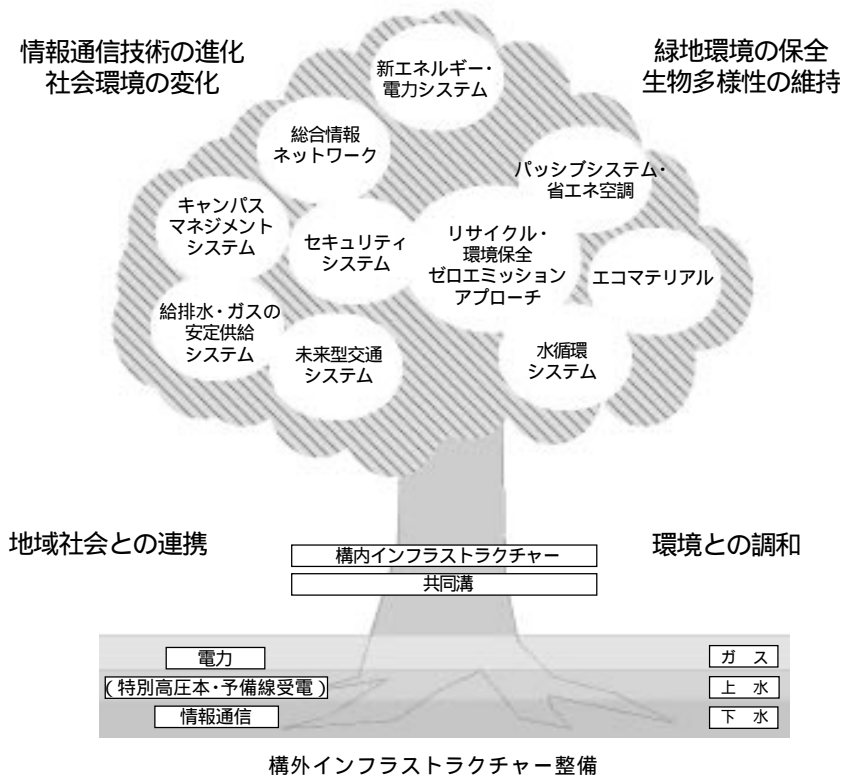


図6-8-1 サステナブル・キャンパスを支える  
多様なシステムの概念

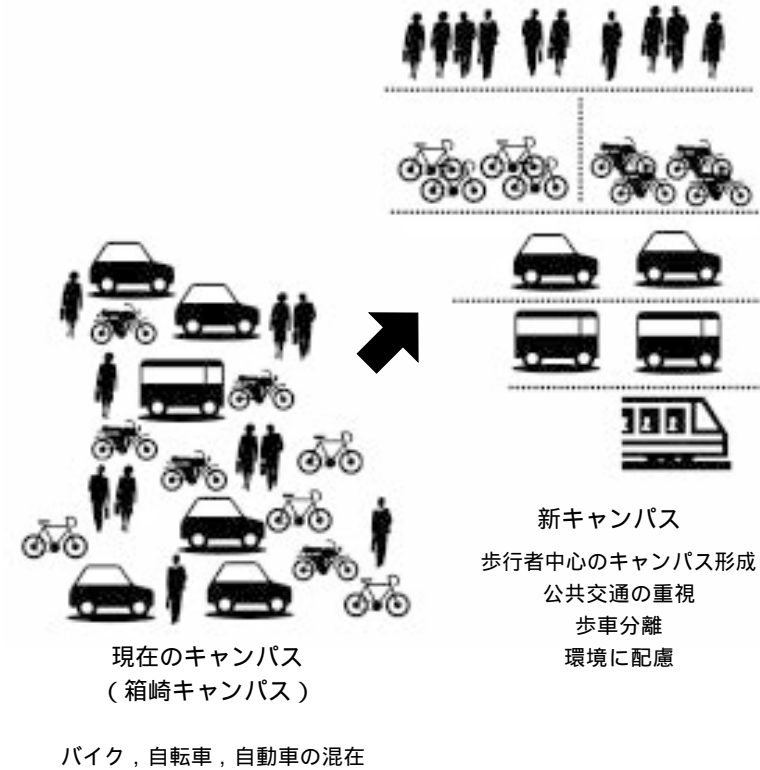


図6-8-2 交通コントロールの概念



(3) 防災、防犯上安全で安心して活動できるセキュリティ・システムの導入

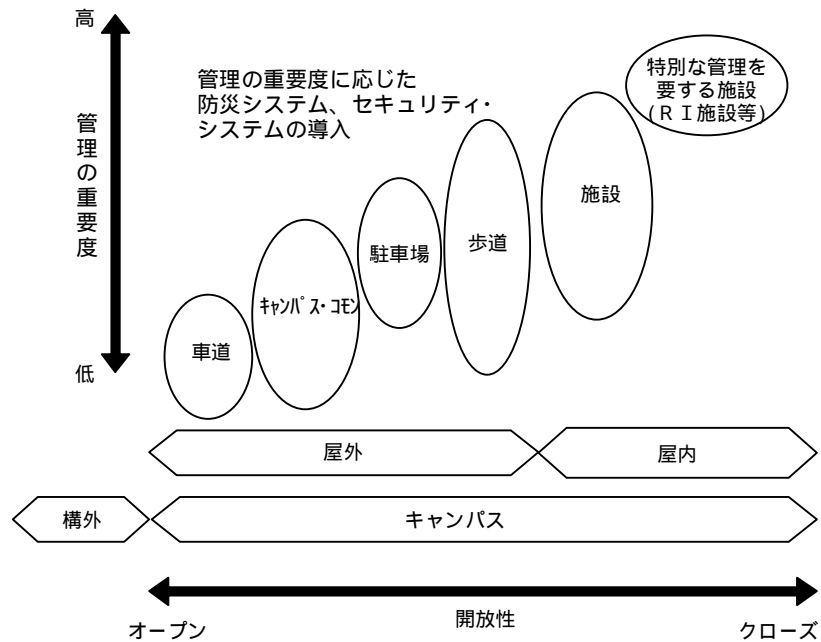


図6-8-3 セキュリティ・システムの構築イメージ

(4) 地域と連携した災害時の危機管理への対応

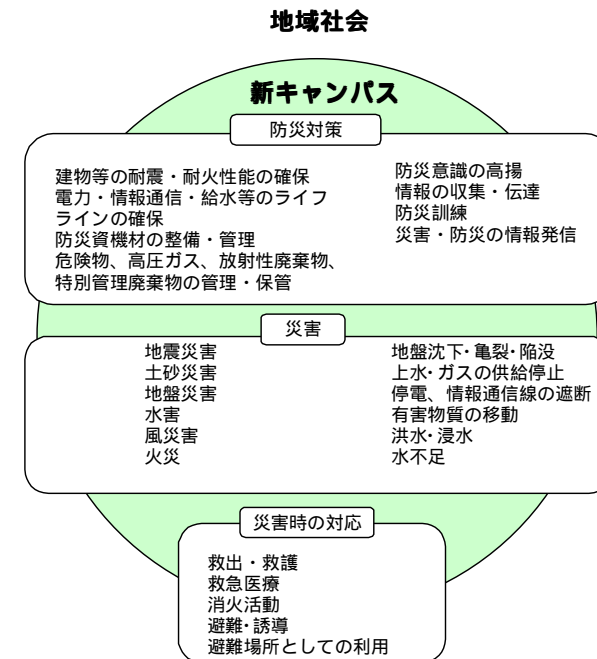


図6-8-4 地域と連携した防災体制の概念

## 6.9 新しいシステムの創造にチャレンジする実験都市の構築

(1) IT（情報通信技術）を活用した研究・教育環境  
および管理・運営システムの構築

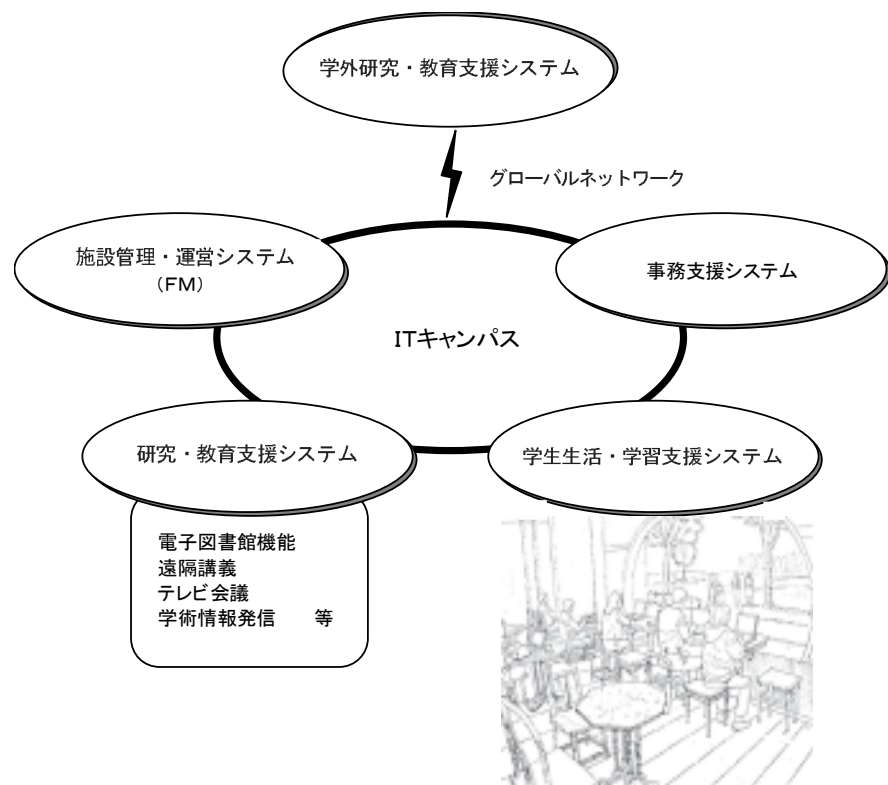


図6-9-1 ITキャンパスの概念

(2) エネルギー使用のベストミックスと自然・新エネルギー利用技術の導入

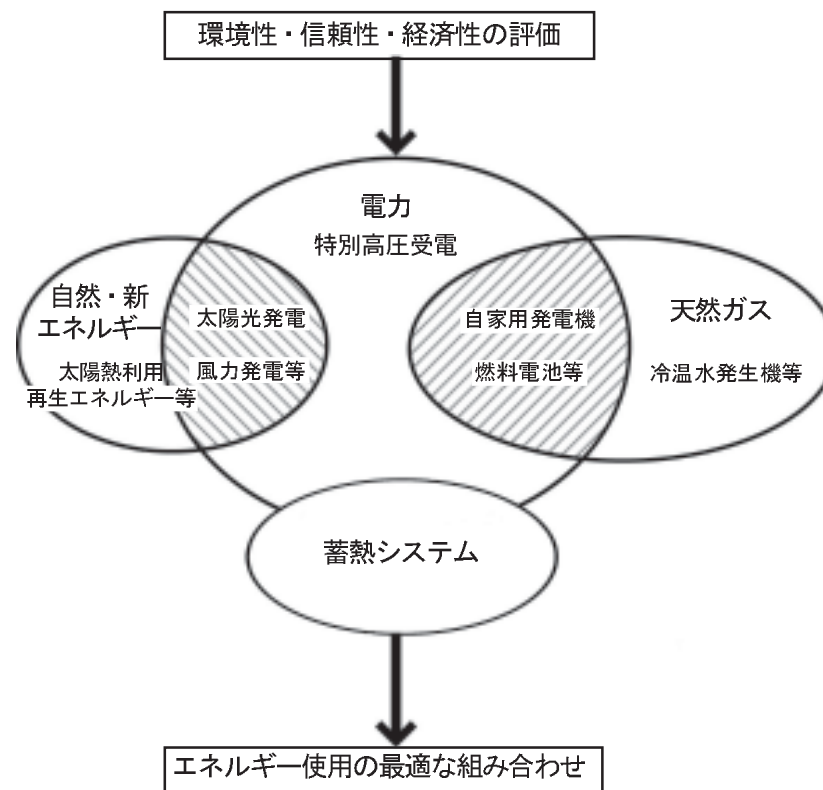


図6-9-2 エネルギー使用のベストミックスの概念

